

(報道関係者へのお知らせ)

平成 28 年 3 月 17 日
原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF)

「第 1 回福島第一廃炉国際フォーラム」のご取材について

標記につきましては、本年 2 月 5 日、専用ウェブサイトを立て、本フォーラムの詳細をご紹介しますところ (http://ndf-forum.com)。

つきましては、本フォーラム開催に当たり、報道関係者の方々にご取材を頂くべく「取材要領」並びに、「取材参加登録」に関しまして、下記の通りご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 国際フォーラム概要

- (1) 名 称 「第 1 回福島第一廃炉国際フォーラム ～東日本大震災から 5 年～」
- (2) 開催時期 平成 28 年 4 月 10 日 (日) ～11 日 (月) (2 日間)
- (3) 会 場 スパリゾートハワイアンズ(会場:コンベンションホール「ラピータ」)
〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蕨平 50

(<http://www.hawaiians.co.jp/>)

2. 添付資料

- ・「第 1 回福島第一廃炉国際フォーラム」取材要領・7 枚 【添付 1】
- ・プログラム・2 枚 【添付 2】
- ・第 1 回福島第一廃炉国際フォーラム会場図 (ラピータ 3F) 【添付 3】
- ・取材参加登録票 (FAX にてご返信下さい/4 月 1 日(金)17 時締切) 【添付 4】

以 上

問い合わせ先:

原子力損害賠償・廃炉等支援機構
廃炉総括グループ 池上・伊藤
電話: 03-5545-7104

「第1回福島第一廃炉国際フォーラム」取材要領

平成28年3月17日
福島第一廃炉国際フォーラム事務局

1. 第1回福島第一廃炉国際フォーラムについて

(1) 名称

第1回福島第一廃炉国際フォーラム ～東日本大震災から5年～

The 1st International Forum on the Decommissioning of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station
～ Commemorating 5 years since the Great East Japan Earthquake ～

(2) 開催趣旨

東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置は世界にも前例のない困難な取組であり、円滑に進めていくためには、風評被害を防止しつつ、世界の叡智を集め、長きにわたる廃炉を担う人材の育成を進めていく必要があります。また、廃炉に携わる研究機関及び企業が行ってきた研究開発の成果や廃炉の進捗状況については、国内外に対して更なる理解促進を図ることが重要です。

については、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故発生から5年の節目を迎える今春、福島県いわき市内において、国際原子力機関（IAEA）及び経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）等の国際機関をはじめ、国内外の関係機関や専門家、地元の方々や学生等にもご参加いただき、経済産業省資源エネルギー庁と原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）の共催で、第1回福島第一廃炉国際フォーラムを開催します。

本フォーラムは、世界中の著名な専門家、学生及び地元関係者が一堂に会する、廃炉分野における初めての国際的なフォーラムです。

また、同時開催するイベントでは、廃炉作業の様々なステージにおける研究開発の取組を紹介することで、日本企業、海外企業及び学生を含む廃炉に関係する方々の交流・人材育成の場を提供します。

(3) 開催日程

平成28年4月10日（日）～11日（月）（2日間）

(4) 会場

スパリゾートハワイアンズ（会場：コンベンションホール「ラピータ」）

〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蕨平 50

(<http://www.hawaiians.co.jp/>)

(5) 主な登壇者

ウィリアム・D・マグウッド四世 【経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）事務局長】

ファン・C・レンティッホ 【国際原子力機関（IAEA）事務局次長】

マイク・ウエイトマン 【元英国原子力規制機関（ONR）長官】

ジョン・クラーク 【英国原子力廃止措置機関（NDA）総裁】

モニカ・レガルプト 【米国エネルギー省（DOE）次官補】

クリストフ・ベアール 【フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA) 原子力開発局長】
崎田裕子 (さきた ゆうこ) 【ジャーナリスト・環境カウンセラー】
丹羽太貫 (にわ おおつら) 【放射線影響研究所 理事長】
遠藤典子 (えんどう のりこ) 【慶應義塾大学 特任教授】
増田尚宏 (ますだ なおひろ) 【東京電力福島第一廃炉推進カンパニー プレジデント】

(6) 開催体制

<主催>

経済産業省資源エネルギー庁、原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF)

<協力>

国際原子力機関 (IAEA)、経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA)、
日本原子力研究開発機構 (JAEA)、国際廃炉研究開発機構 (IRID)、駐日英国大使館、
駐日フランス大使館、駐日米国大使館、東京電力

<後援>

復興庁、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、
環境省、福島県、福島大学、福島工業高等専門学校、福島民報社、福島民友新聞社、
日本原子力学会、日本原子力産業協会

(7) プログラム概要

<10日>

開会挨拶 : 経済産業省 (調整中)

基調講演 : 山名元 (NDF)、ウィリアム・D・マグウッド四世 (OECD/NEA)、
ファン・C・レンティッホ (IAEA)

セッションⅠ : 海外での廃炉への取組及び地域社会とのコミュニケーション

セッションⅡ : 福島第一原発での廃炉への取組及び地域社会とのコミュニケーション

ネットワーキング : 次世代を担う若手研究者や学生、国内外の産業界・研究機関と
の双方向交流

<11日>

基調講演 : マイク・ウエイトマン

セッションⅢ : リスク評価

セッションⅣ : 燃料デブリ取り出し

セッションⅤ : 廃棄物対策

クロージング : 経済産業省 (調整中)

<10～11日>

廃炉技術ショーケース

①福島県及び地元企業による廃炉・除染に関する情報発信

福島県庁及び福島県廃炉・除染ロボット技術研究会 (福島県ハイテクプラザ) に
よる展示

②福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組に関する情報発信

廃炉技術展／ロボット実演コーナー

(8) 福島第一廃炉国際フォーラム ホームページ

登壇者のプロフィールやアブストラクトについては、プログラムのページをご参照ください。

<http://www.ndf-forum.com/>

2. 取材登録について

(1) 登録方法

- ◆ 取材を希望される場合は、添付4「取材参加登録票」に必要事項をご記入の上、FAXにて事前登録をお願いします。
- ◆ 上記「取材参加登録票」をご返信いただき次第、個別取材等の調整のため、改めて連絡及び調整をさせていただきます。
- ◆ 登録先：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉総括 G 伊藤宛て
(FAX: 03-5545-7116)

(2) 登録締切

- ◆ 4月1日(金) 17:00まで

※登録が完了されていない場合は原則として入場をお断りいたしますので、期限を厳守していただきますようお願いいたします。

3. 当日の受付について

(1) 受付場所

スパリゾートハワイアンズ ラピータ3階 「プレス受付」

(2) 受付時間

4月10日(日): 8:45~18:30

4月11日(月): 8:45~17:10

(3) 当日お持ちいただくもの

- ◆ 名刺
- ◆ 写真付きの記者証

(4) プレス用パス

- ◆ 受付にて事前登録の確認をさせていただき、名刺と引き換えに「プレス用パス」を発行します。その際、記者証を確認させていただく場合もありますのでご了承ください。
- ◆ プレス用パスは会場内では常時首にかけて携行してください。
- ◆ 途中退場・入場の際は「プレス受付」付近にてパスを確認させていただきます。

4. プレス控え室のご利用について

フォーラム期間中は、会場内（ラピータ 4 階）にプレス控え室を設置します。場所、利用時間等は以下のとおりです。

(1) 場所

スパリゾートハワイアンズ ラピータ 4 階 「ハイビスカス」

(2) 利用時間

8 : 4 5 ~ 2 2 : 0 0

(3) その他

- ◆ パソコン及びインターネット接続用の機器は各自でご用意ください。
(プレス控室「ハイビスカス」がある 4F は wifi 環境にはなっていません。フォーラム会場である 3F 水星・木星・金星及びロビーを含めたその周辺ではフリー wifi 環境であるためご利用可能です。)
- ◆ 同控室の電源容量については、パソコン等の機器を 20 台程度同時に使える容量を確保しておきます(80A 程度)。なお、延長コードについては念のためご準備ください。
- ◆ プレス控え室内に持ち込まれる機材の管理は、各社の責任でお願いいたします。盗難・事故等については主催者及び会場側では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ◆ 飲食物を持ち込んでいただくことは可能ですが、ゴミはゴミ箱へ捨てていただく等、控え室内を清潔にご利用いただきますようお願いいたします。
(お茶などのお飲み物はご準備させていただきます。)

5. 食事について

(1) 朝食

会場には用意がございませんので、各自にてお手配をお願いいたします。

(2) 昼食

10 日（日）及び 11 日（月）ともに、一般の参加者と同じ専用buffetをご利用ください。無料にてご利用いただけます。

(3) 夕食

10（日）のネットワーキングセッションに参加される場合は、一般の参加者と同じ専用buffetをご利用ください。無料にてご利用いただけます。

11 日（月）は夕食のご用意がございませんので、各自にてお手配をお願いいたします。

6. 取材可能な時間・場所について

(1) 取材可能な時間・場所一覧

<4月10日(日)>

時間 (変更の可能性有り)	プログラム	会場	撮影可否	備考
10:00-11:40	開会・基調講演	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
13:20-15:20	セッションⅠ	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
15:50-17:55	セッションⅡ	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
18:35-20:30	廃炉・汚染水対策従事作業チームへの感謝状授与 ネットワーキング	金星・木星	感謝状授与終了まで可	日英逐語通訳あり
11:40-15:50	福島県／福島県廃炉・除染ロボット技術研究会展示	ロビー	撮影可(インタビューは了承を得た上で可)	会場に逐語通訳スタッフを配置
11:40-15:50	廃炉技術展／ロボット実演コーナー	水星	撮影可(インタビューは了承を得た上で可)	会場に逐語通訳スタッフを配置
19:15頃 (当日お知らせ)	海外の登壇者を中心に囲み取材	(当日お知らせ)	原則撮影可	日英逐語通訳

<4月11日(月)>

時間 (変更の可能性有り)	プログラム	会場	撮影可否	備考
10:00-10:30	基調講演	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
10:30-12:00	セッションⅢ	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
13:30-15:15	セッションⅣ	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
14:46	(黙とう)	金星・木星	撮影可	—
15:35-17:10	セッションⅤ	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
17:10-17:20	クロージング	金星・木星	登壇者紹介中のみ可	日英同時通訳あり
10:30-17:10	福島県／福島県廃炉・除染ロボット技術研究会展示	ロビー	撮影可(インタビューは了承を得た上で可)	日英逐語通訳スタッフを配置
10:30-17:10	廃炉技術展／ロボット実演コーナー	水星	撮影可(インタビューは了承を得た上で可)	日英逐語通訳スタッフを配置
17:30頃 (当日お知らせ)	経済産業省・NDF 理事長会見(又は囲み取材)	(当日お知らせ)	撮影可	クロージングペーパー配布予定

(2) プレス席

- ◆ 会場（金星・木星）では、「プレス関係者席」は設けず自由席とします。
- ◆ 席が大変混み合うことが予想されますので、カメラ等の機材類を足元に置かれる場合は、周りのお客様へのご配慮をお願いします。

(3) 金星・木星での講演中の撮影取材

- ◆ フォーラム会場では、スチールカメラ、TVカメラ（ハンディ含む）の撮影取材は、時間と場所を設けさせていただきます。また、自席からのスチールカメラでの撮影は、シャッター音が周囲の迷惑となりますのでご遠慮ください。
- ◆ 時間：各々のセッションや基調講演が開始され、冒頭司会者が登壇者を紹介する数分間とさせていただきます。
- ◆ 場所：「添付3・会場図」に記載している番号、①②③④⑤⑥⑦と決めさせていただきます、その間のフラッシュ・照明使用は可とします。
- ◆ 備考：TVカメラ（ハンディ含む）での撮影は、フォーラム会場最後部のカメラ台上（添付3・会場図⑤）及び⑥⑦からは終日撮影フリーとします。

(4) 展示会場（水星・ロビー）での撮影取材

- ◆ 水星での廃炉技術展及びロボット実演コーナー、ロビーでの福島県及び福島県廃炉・除染ロボット技術研究会の展示において、説明員へのインタビュー取材をされる場合は、各出展者に直接ご相談ください。
- ◆ 取材にあたっては、回りのお客様へご迷惑がかからないよう、十分ご配慮いただくようお願いします。
- ◆ 当日、ご不明の点がありましたら係員にお尋ねください。

(5) プログラム終了後の囲み取材等

<4月10日>

- ◆ 1日目のプログラム終了後、登壇者の囲み取材の機会を設ける予定です。
- ◆ 当日、会場でのアナウンスやプレス控え室への掲示等により、詳しい開始時間と場所をご案内いたします。
- ◆ 外国人が囲み取材に参加する場合は、日英の逐次通訳を用意いたします。

<4月11日>

- ◆ 2日目のプログラム終了後、経済産業省及びNDF理事長（山名元）による会見を予定しています。
- ◆ 取材希望者が少ない場合は、囲み取材に変更する可能性があります。
- ◆ 当日、会場でのアナウンス等により、詳しい開始時間と場所をご案内いたします。

(6) 個別取材

- ◆ フォーラム前日並びにフォーラム開催中において、国内外の登壇者等に対し、個別インタビュー等をご希望される場合は、事務局より事前に登壇者に対し確認等を取るなどの取材アレンジを行いたいと考えています。
- ◆ 個別取材のご希望がある場合は、添付4の「取材参加登録票」の「取材の申し込み」欄に記載してください。個別に調整をさせていただきます。

7. その他注意事項について

- ◆ 取材要領に記載のない事項については、事務局や会場係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。従っていただけない場合は、取材の中止または取材登録を取り消すことがあります。
- ◆ 参加者や講演者の導線の妨げにならないよう注意してください。
- ◆ 撮影に当たって、一般参加者の方が映り込む可能性がある場合は、極力お顔は映らないようご配慮いただくか、個別にご本人のご了解を得た上で撮影をお願いいたします。
- ◆ 10日の廃炉・汚染水対策従事作業チームへの感謝状贈呈後、同じ会場で、ネットワーキングセッションを開催します。プレスの方々も参加いただけますが、撮影を含む取材はご遠慮ください。

以上

プログラム(3/16 現在)

●初日

日	時間	セッション・タイトル	登壇者	所属
4/10(日)	10:00~11:40	開会挨拶	(調整中)	経済産業省
		来賓挨拶(P)	福島県 (調整中)	福島県知事 (調整中)
		基調講演 NDFの活動及び戦略プラン	山名 元	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF) 理事長
		基調講演 国際機関による 福島第一原発に係る活動	W. D. マグウッド IV J. C. レンティッホ	経済協力開発機構原子力機関 OECD/NEA 事務局長 国際原子力機関 (IAEA) 事務局長次長
	11:40~13:20 (1時間40分)	昼食・休憩		
	13:20~15:20	セッション I 海外での廃炉への取組及び地域社会とのコミュニケーション	R. ヤング	米国 電力研究所 (EPRI) フェロー
			M. C. レガルプト	米国 エネルギー省 (DOE) 次官補
			C. ベアール	フランス 原子力・代替エネルギー庁 (CEA) 原子力開発局長
			J. クラーク	英国 原子力廃止措置機関 (NDA) 総裁
			M. スターキー	西カンブリア住民グループ副代表・ 英国 コープランド市長
			J. リード	英国 下院議員 (カンブリア州選挙区選出)
	15:20~15:50	コーヒーブレイク		
	15:50 ~ 17:55	セッション II 福島第一原発の廃炉への取組及び 地域社会とのコミュニケーション	崎田 裕子	ジャーナリスト・ 環境カウンセラー
			増田 尚宏	東京電力福島第一廃炉推進カンパニー プレジデント
			丹羽 太貴	放射線影響研究所 理事長 (元 福島県立医大)
			高村 美春	原発震災を語り継ぐ会 主宰
			吉川 彰浩	一般社団法人 AFW 代表理事
			遠藤 典子	慶應義塾大学 特任教授
			W. D. マグウッド IV	経済協力開発機構原子力機関 OECD/NEA 事務局長
			J. C. レンティッホ	国際原子力機関 (IAEA) 事務局長次長
17:55~18:35	休憩			
18:35~20:30	廃炉・汚染水対策従事作業チームへの感謝状授与/ネットワーキングセッション			

● 2 日 目

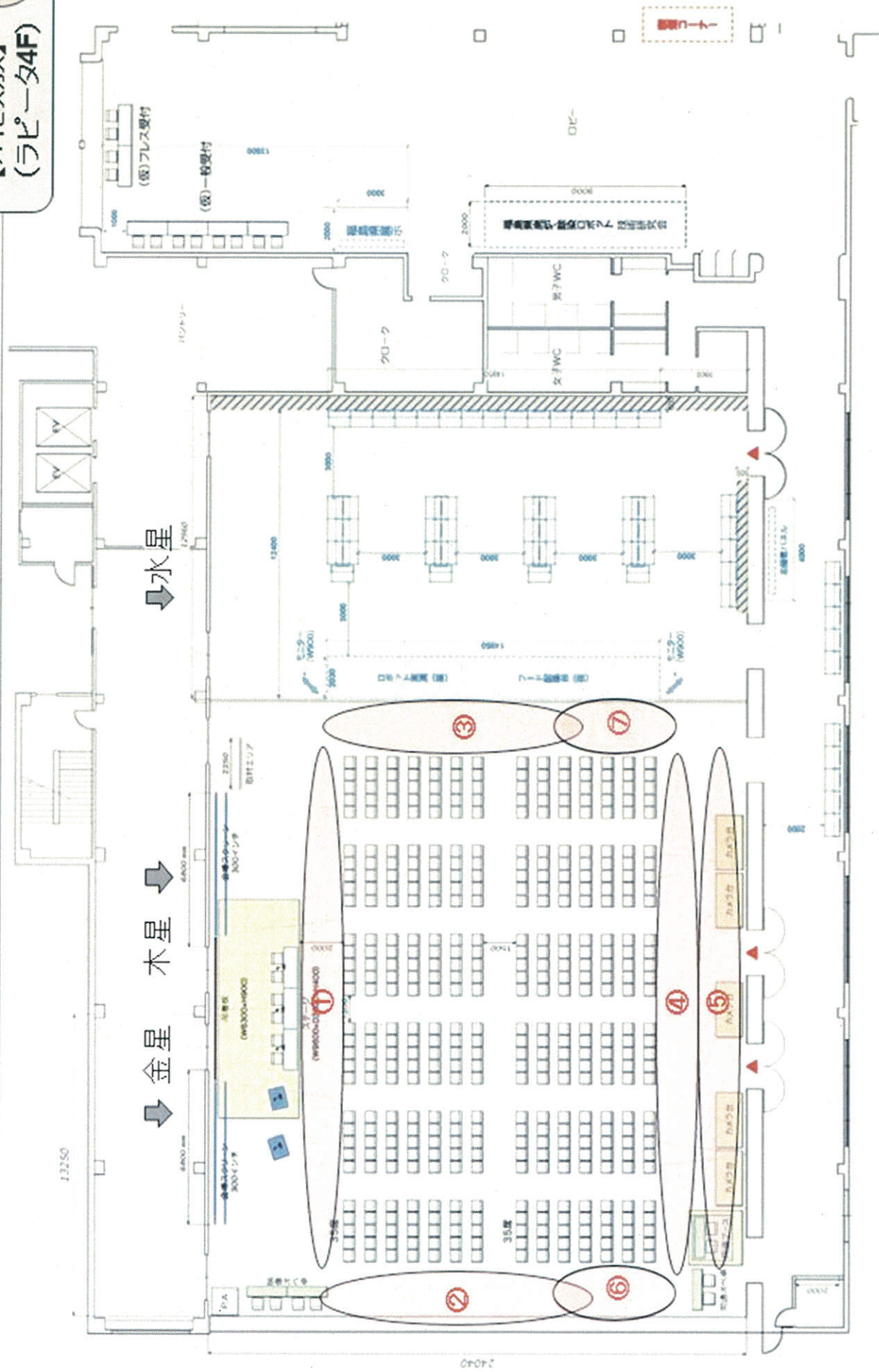
日	時間	セッション・タイトル	登壇者	所属	
4/11(月)	10:00~10:30	特別講演 英国における廃止措置の規制	M. ウェイトマン	英国 原子力規制機関 (ONR) 元長官	
	10:30~12:00	セッション III リスク評価	M. トリプレット	米国 パシフィック・ノースウェスト国立研究所 (PNNL) シニア・アドバイザー	
			A. クラーク	英国 原子力廃止措置機関 (NDA) 環境修復部長	
			A. オール	国際原子力機関 (IAEA) 廃棄物環境安全課長	
			肥田 和毅	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF) 技術グループ 審議役	
			小山 正史	電力中央研究所 研究参事	
	12:00~13:30 (1時間30分)	昼食・休憩			
	13:30~15:15	セッション IV 燃料デブリ取出し	C.A. ネギン	米国 CANegin&Associats プロフェッショナル・エンジニア	
			V. F. ストリゾフ	ロシア 科学アカデミー原子力安全研究所 (IBRAE) 副所長	
			L. ゴーケ	ハンガリー パクシュ原子力発電所 核燃料部長	
			高守 謙郎	国際廃炉研究開発機構 (IRID) 研究管理部長	
			福田 俊彦	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF) 執行役員 技術グループ長	
			越塚 誠一	東京大学 教授	
	15:15~15:35	コーヒーブレイク			
	15:35~17:10	セッション V 廃棄物対策	P. ディックマン	米国 アルゴンヌ国立研究所 (ANL) シニア・ポリシー・フェロー	
			P. ハリントン	英国 セラフィールド Ltd ad of Operations Dept	
			Eric Kraus	フランス 原子力・代替エネルギー庁 (CEA) 解体・廃止措置本部副本部長	
			松本 純	東京電力福島第一廃炉推進カンパニー バイスプレジデント	
			小川 徹	日本原子力研究開発機構 (JAEA) / 廃炉国際共同研究センター (CLADS) センター長	
		朽山 修	原子力安全研究協会 技術顧問		
17:10~17:20	クロージング	(調整中)	経済産業省		

黙とう
14:46



第1回福島第一廃炉国際フォーラム会場図(ラピータ3F)

プレス控室
【ハイビスカス】
(ラピータ4F)



取材参加登録票

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉総括 G 伊藤行き

(FAX:03-5545-7116)

(撮影クルーの方も入場される方は全て申込んで下さい)

締切：4月1日(金) 17:00

- 「第1回福島第一廃炉国際フォーラム」に取材参加登録を行います。

【取材参加登録】 ※個人情報、今回の取材参加登録に限り使用いたします。

	ご記入ください	
会社名／所属	／	
氏名 (ふりがな)		
住所 (会社住所)		
連絡先 (通常／携帯)	／ (緊急にご連絡する場合のため)	
メールアドレス	(通常良く見るアドレスをお書き下さい)	
持込機材 (カメラ・三脚等)	(物量が分かるようにお書き下さい)	
取材の申し込み (希望内容を記載下さい)	取材希望 対象者	
	取材希望 内容	
	補足説明	

【取材参加日程】 ※参加予定の枠に○を付けてください。

初日 (午前)	
初日 (午後)	
初日 (ネットワークセッション)	
2日目 (午前)	
2日目 (午後)	

【交通手段】

() 自己所有・手配車、() その他。左のどちらかに○をお付け下さい。